

2014年6月5日 第2171回例会報告

【点鐘・ロータリーソング】

“君が代” “奉仕の理想”

【来客紹介】

◎ゲストスピーカー

“スタンダードJAZZオルガン”

卓話者 JAZZオルガニスト

渡 部 薫 氏

(紹介者) 小川さん

【幹事報告】

○来週(6/12)の夜間例会

(次年度のクラブ協議会の案内)

会場は4Fとなります。

前年度委員長は出席ねがいます。

万一欠席の場合は御代理をお立て下さい。

【委員会報告】

○出席率報告・出席委員会(田宮さん)

○家庭集会第1班(八木さん)

○ニコニコ報告(大沼さん)

○本日の司会(藤澤さん)

【ニコニコBOX】

[廣田さん] 久々に京都に行って、御所を見学してきました。歴史の重みを感じました。又昨日は小池さんご苦労様でした。

[秋庭さん] 先日の次年度家族旅行下見に9名で行ってきました。参加した皆様おつかれ様でした。本番の時は楽しい旅行が出来るように、親睦委員会の皆さんよろしくお願ひ致します。

[宮城さん] 次年度の旅行の下見に行ってきました。小池さんが頑張っていますので、その節は是非参加下さいます様宜しくお願ひ致します。

[小池さん] 親睦下見ツアーに参加さ

れました皆さんお疲れ様でした。明日から高木神社例大祭の準備です。雨が心配です。

[河端さん] 6/8会社のコンペです。雨が降らないよう祈願！

[田崎さん] 廣田会長、先日お世話になりました。また宜しくお願いします。

[石川さん] よいことがありました。

[大塚(一)さん] なんとなくニコニコです。

[大沼さん] 会長、幹事の皆様、あと1ヶ月で今期も終ります。頑張って下さい。

[猪越さん] 先日は楽しい旅行が二回も行く事が出来ましたので。

[滝澤(健)さん] 先日、来年の親睦家族旅行の下見に参加して参りました。城崎温泉は初めてでしたが、宿も温泉街も昔情緒のある良い処でした。

[小川さん] 日本で有名なジャズオルガニスト渡部薫さんを紹介します。

[榎本さん] 昨夜楽しい事とうれしい事がありました。

[長谷川さん] いよいよ雨です。うつといですね。

[田宮さん] 廣田会長、今井幹事、御苦労様。後3回です。特に廣田会長、永きに渡り有難うございました。

[西田さん] 下見旅行では、秋庭さんはじめ皆様、ご苦労様でした。

本日合計	36,000円
累計	2,037,000円

【卓話】

6月5日の卓話は、“スタンダードJAZZオルガン”と題して、JAZZオルガニスト渡部薫氏に演奏していただきました。



東京向島ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

向
島

RI会長方針 ロン・バートン

**ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を**

会長方針 廣田健史

**ロータリーを語り
友情を深めよう!**

東京向島ロータリークラブ

- 会長: 廣田健史
- 幹事: 今井達
- 庶務委員長: 小池肇

例会日: 木曜日 12:30~13:30
 例会場: 東武ホテルレバント東京
 TEL 03(5611)5611
 FAX 03(5611)5629
 事務局: 墨田区錦糸1-1-5 Aビル6階
 TEL 03(5637)4606
 FAX 03(5637)4611
 URL <http://www.tokyomukoujima-rc.org/>

2014年6月12日(第2172回)例会

本日の卓話
「クラブ協議会(夜間例会)」

6月19日の卓話
「相撲」
卓話者 財団法人日本相撲協会(両国国技館) 木村堅治郎氏 紹介者 今さん

出席者	欠席者	出席率	前々回の出席率の訂正
会員 42名中 31名	11名	86.11%	88.57%

会員情報

庶務委員長

小池 肇



5/31(土)～6/1(日)次年度親睦委員会9名のメンバーで、来年の旅行の下見に行ってまいりました。

城之崎温泉（兵庫県）に宿泊し、翌日、天橋立を見学してきましたが、両日共晴天に恵まれとても楽しい旅行になりました。

また、課題も何点か見つかり本番に向けてより良い旅行になる様に一生懸命頑張りたいと思います。

末筆になりましたが、2年間に渡り庶務委員会に原稿、資料等お寄せいただきました会員の皆さんに改めて感謝申し上げます。どうもありがとうございました。



コミュニティイベント

2014年 NHK大河ドラマ特別展

「軍師官兵衛」



平成26年(2014)のNHK大河ドラマは黒田官兵衛の生涯を描きます。官兵衛は、戦国時代末期、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三英傑に重用されながらも、あり余る才能ゆえに警戒され恐れられた男であり、乱世を見事に生き抜くとともに福岡藩52万石の礎を築いた、稀代の天才軍師とうたわれています。

この展覧会では、黒田官兵衛ゆかりの品や、同時代の歴史資料などを紹介し、官兵衛の人間像と彼が生きた時代を浮き彫りにします。

日 時：平成26年5月27日(火)～2014年7月13日(日)
場 所：墨田区横網1丁目4-1
期 日：平成26年5月27日(火)～7月13日(日)
場 所：東京都江戸東京博物館1階展示室(墨田区横網1-4-1)
時 間：9:30～17:30(土曜日は19:30まで。入館は閉館の30分前まで)
休館日：毎週月曜日
主 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、NHK、NHKプロモーション

すみだトピックス

ロータリー情報

ロータリー・ソング

日本のロータリアンの多くは、クラブの例会へ出かけ、そこで「いつものように」ロータリー・ソングを皆で歌っていることでしょう。このロータリー・ソングについてご紹介します。

初めてのコーラス

ロータリーにおいて、一世紀を超える「歌を歌うということ」、を始めた人は、1905年にロータリーが創立したとき、最初に会員となった4人に次いで、5番目にロータリーに入った人、ハリー・ラグレス(Harry Raggles 1871～1959・本誌2005年9月号横組みP26の本欄「ロータリーの先駆者〈海外編〉」でも紹介)です。

1905年、アメリカのシカゴでロータリーは生まれましたが、その折、創始者ポール・ハリスと、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー、ガスター・バース・ローら4人の集いに加わり、5人目の会員となったのが職業分類・印刷業のハリーでした。

シカゴロータリークラブ(RC)の会員になったハリーは、ポール・ハリスの評によると一見無愛想で、クラブ入会の紹介時には「果たしてクラブに入って、ロータリーの友好を実現できるだろうか」と内心危ぶまれたほどの人だったようです。実はハリーはもともと歌うことが大好きな人でした。

もっとも、今世紀初頭の欧米では「歌を歌うこと」「コーラスすること」は、人々のごく一般的な風潮でしたので、彼が特に変わった趣味をもっていた、というわけではありません。

産声を上げたばかり、1905年のロータリークラブの、ある秋の日の夜の例会について『奉仕の一世纪 国際ロータリー物語』(P30)には、以下のように記されています。

「1905年のある秋の夜、例会で一時的な静寂が訪れた。会話のざわめきが突然止んだ。警告もなく、ハリー・ラグレスが自ら立ち上がって「おい、みんな、歌おう！」と當時流行っていた歌を何曲か音頭を取って歌った。以来、例会での合唱は、ロータリーの伝統となった」

これが、ロータリーの例会で歌を歌った最初のシーンです。しかし、このとき歌われたのは、いわゆるロータリー・ソングではなく、当時の流行歌でした。

いつもコーラス

さて、ロータリー誕生後2年目には、ささいな意見の相違がだんだん大きくなり、シカゴクラブ内が割れ、出席率も低下するという事態が起こったようです。

そこで、当時シカゴRCの幹事であったウィル・R・ネップ医師が、ハリー・ラグレスと協議しました。「これがもう1か月も続けば、クラブは解散してしまうだろう」とネップは悲しそうにハリーに言い、続けて「私は、君が毎週立ち上がって楽しく歌うことにしたらどうか、と思う」と言った、というような記録が残っていると、榎部誠バストガバナー(1964～65年度・川崎RC)が『友』誌(初載は1971年4月号、2002年9月号に転載)に記述しています。

その結果、ハリーの指揮による歌声が、毎回クラブの例会で響くようになり、いつのまにかクラブの中の雰囲気は改善され、シカゴRCは解散の危機を脱していたそうです。歌が、人々の心を結んだのです。

その後、ハリーの指揮は恒例のものとなりました。再び『奉仕の一世纪 国際ロータリー物語』(P30)から引用します。

「今日でも、シカゴ・ロータリー・クラブの古参会員から話を聞くことができる。会長が開会の辞を述べると、シャーマン・ホテルの大広間が真っ暗になる。すると暗闇を突き抜けて1本のスポットライトが西側バルコニーの瘦せた男に当たる。部屋中が期待に息を呑む中で、ハリー・ラグレスが両手を上げて叫ぶ：「さあ、みんな、歌おう！」そして皆が歌い出すのだ、と。ハリーは所属クラブでも、全米の地区大会でも、国際大会でも歌の音頭を取った。しかし、1959年10月23日、卓話者として招かれたカリフォルニア州カシードラル・シティー・ロータリー・クラブの例会に向かう途中で心臓発作を起こし、54年間にわたりロータリーに歌と太陽をもたらしたその声をもはや聞くことはできなくなった」

世にコーラスの風潮はあふれていても、例会という集いの中で定期的に歌を歌うことを、積極的に続ける形式は、当時新鮮なものでした。深い意識はなかったかもしれません、シカゴロータリークラブのハリー・ラグレスの行為は、歌という親睦に偉大な効果を發揮する、微妙な結合剤をロータリーに提供したことになりました。

また、歌われる歌曲もだんだん決まってきていたので、印刷業のハリー・ラグレスは、1910年にはロータリー・ソングブックの第1号の出版もしています。以後それは版を重ね、ロータリアン間に普及していきました。